

◇湯沢町 生涯学習に関する町民意識調査 調査結果報告書（概要版）

調査目的

第3次湯沢町生涯学習推進プランの策定にあたり、町民の生涯学習に関する意識・実態等を統計的手法によって把握・分析し、計画策定の基礎資料を得るとともに、今後の生涯学習推進における課題を把握し、町の施策に反映させることを目的にアンケート調査を実施しました。

調査概要

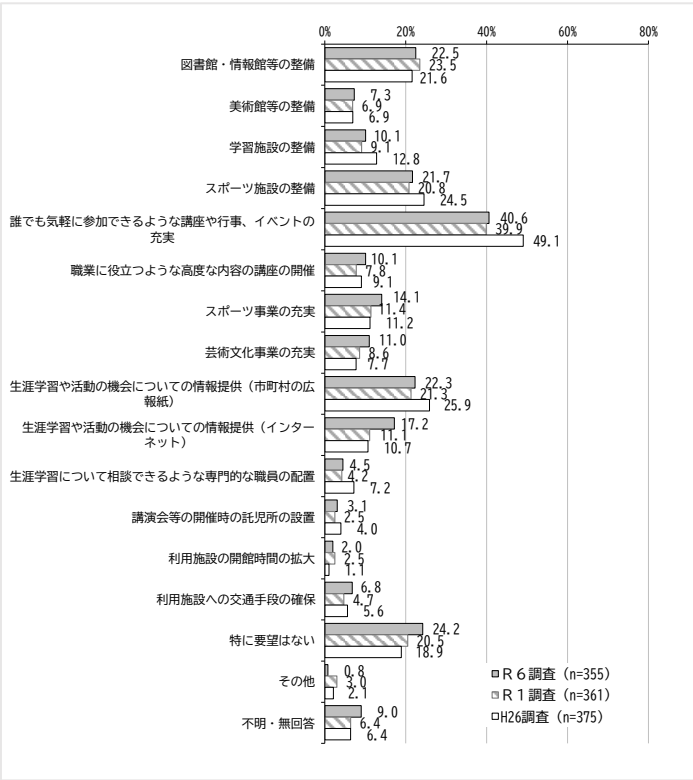
- 調査地域：町内全域
- 調査対象者：18歳以上の湯沢町民 1,000人（無作為抽出）
- 調査期間：令和7年1月6日～令和7年1月24日（1月31日到着分までを集計対象とした）
- 調査方法：郵送配付・郵送回収

配付数	有効回収数	有効回収率
1,000件	355件	35.5%

調査結果と結果等からみえる課題

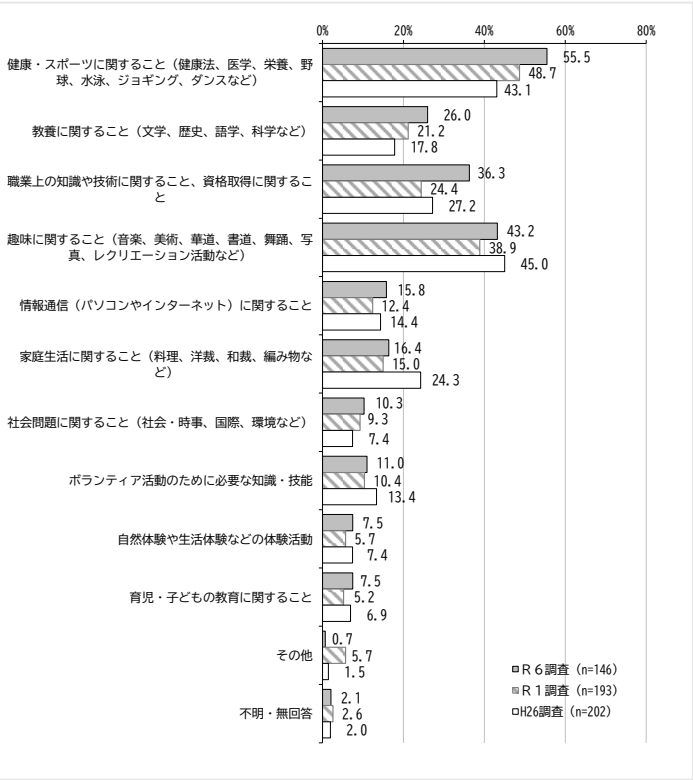
課題①アクセシビリティと利便性の向上

- 町民アンケート調査（問12）では、学習や活動を行うための施設や方法についての要望等として「誰でも気軽に参加できるような講座や行事、イベントの充実」、「図書館・情報館等の整備」、「生涯学習や活動についての情報提供（市町村の広報紙）」が高くなっています。（「特に要望はない」を除く。）
- 町民が気軽に学習や活動を行えるよう、講座等の開催方法や、図書館等の施設の利用方法・設備等を必要に応じて見直すとともに、情報発信についてもさらに充実することが求められます。



課題②町民の多様な学習ニーズに対する行政の役割の明確化

- 町民アンケート調査（問6-1）では、この1年間に学習や活動した内容として「健康・スポーツに関すること」、「職業上の知識や技術に関すること、資格取得に関すること」が令和元年度調査と比較して高くなっています。
- 町民の多様な学習ニーズを踏まえて、地域づくりやまちづくりといった社会的な活動に繋がっていくものや、地域において新しい人のつながりや助け合い・支え合いにつながる関係づくりを目指すものへ積極的に支援を行うほか、誰もが生涯学習活動に参加できるようにするための環境整備等、行政でなければ提供できない領域に着目した取組みが求められます。



課題③ICTを活用した新しい学習や活動のあり方の検討

- 町民アンケート調査（問6-4）では、学習や活動を行った方法として「インターネット」が最も高くなっています。（令和元年度調査では、「図書・新聞・雑誌・DVDなど」が最も高い。）
- このような状況の下、学習や活動へのICTの活用を促進することで、学習や活動のさらなる活性化や、これまで学習や活動に関する情報に十分アクセスできなかった人に対しても、参加の機会を広げるきっかけとなることが期待されます。具体的には、遠隔地への講演・講座の配信や、学習者の都合に合わせて視聴できる学習動画の提供、また、インターネットを介した相互交流等、生涯学習活動の更なる広がりを展望できる新しいあり方を検討していく必要があります。さらに、ICTの活用については年齢等による格差が存在することも予想されるため、ICT活用の学習機会や指導者の研修等、誰もが新しい生涯学習活動に参加できる取組みの充実も求められます。

